

ICF

<健康状態（疾患）>

左視床出血、高血圧、サルコペニア疑い（BMI・アルブミン低値）

事前課題用資料A

全身状態安定、右下肢MMT向上、運動項目向上、歩行能力・耐久性向上、BRS手指：5、下肢：4、BIT:140/146点、

ADL全般一部介助に変更、起居動作見守り、屋内歩行では金属支柱付き短下肢装具四点杖使用し、30m連続歩行可能、失禁量減少トイレでの排泄可能、食事摂取量増加、

経過良好、血圧安定、内服なしで経過できている、精神的不安定さ残存、低栄養状態であるが、改善傾向・体重増加している

<心身機能・構造>

バイタルサイン安定、左上肢MMT4
JCSⅠ-3

<機能・構造障害>

右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ）
感覚障害 筋緊張・深部兼反射亢進
失語（軽度混合型）、高次脳機能障害（注意・失行）、嚥下・摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ）、構音障害、耐久性低下、精神的に不安定

BRS上肢Ⅱで向上していない、バランステスト3/56、低頻度な言葉で喚語困難、注意障害・失行軽度残存、食形態に制限なし、精神的不安定さ残存

<活動>

普通型車いす座位可能、起居・移乗動作一部介助、食事・整容排泄更衣一部介助、車いす自走見守りレベル

<活動制限>

立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ）
歩行重介助（長下肢装具使用）
入浴全介助、食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）

移乗時の膝折れ、リハビリパンツ使用、行動範囲が限られる、

<参加>

専業主婦、家事全般が役割
孫の子育て
裁縫・お菓子作り、料理、ガーデニング、フラワーアレンジメント教室

<参加制約>

家事ができない
孫との交流ができない
趣味活動ができない

<環境因子>

58歳の夫（建設会社勤務）と二人暮らし
持ち家
（2階建、1階リビング・キッチン、和室2階寝室）
長女含め協力的
病気への理解良好
装具の作成検討中
介護保険未申請

要介護5、身体障害者手帳未申請、
装具作成検討、金銭的負担あり

<個人因子>

58才、女性
高血圧治療は自己中断繰り返す
社交的で友人付き合いは多かった
家庭内では明るく楽しい
食事好き嫌が多い
不眠

娘の事が心配、人に迷惑かけたら施設に入りたい、友人と連絡取るのに不安がある、病院内で会話可能となった、娘とLINEができるようになった、

提出資料① 機能 変化・予測シート

以下当日課題

1G

	心身機能	機能障害
初回	・バイタルサイン安定 ・左上下肢MMT 4 ・JCS：Ⅰ-3	・右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ） ・感覚障害 筋緊張・深部腱反射亢進 ・失語（軽度混合型） ・高次脳機能障害（注意・失行） ・嚥下摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ） ・構音障害、耐久性低下、精神的に不安定
2回目 カンファ (入院40日後)	全身状態安定、右下肢MMT向上、運動項目向上、歩行能力・耐久性向上	BRS上肢Ⅱで向上していない、バランステスト3/56、低頻度な言葉で喚語困難、注意障害・失行軽度残存、食形態に制限なし。精神的不安定さ残存。
退院時予測 (入院 3 ヶ月 後)	大腿四頭筋の筋力、バランステスト45点以上目指す、耐久性向上、麻痺側管理、肩装具作成検討、右下肢筋力向上、右上肢の巧緻性向上、口腔機能の向上、	注意障害・失行残存、右上肢麻痺残存、筋緊張亢進の残存、重度感覚障害の残存、精神的不安定さの残存

提出資料② 活動 変化・予測シート

以下当日課題

1G

	活動	活動制限
初回	・ 普通型車いす座位可能 ・ 起居移乗動作一部介助 ・ 食事整容排泄更衣一部介助 ・ 車いす自走見守りレベル	・ 立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ） ・ 歩行重介助（長下肢装具使用） ・ 入浴全介助 ・ 食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）
2回目 カンファ (入院40日後)	ADL全般一部介助に変更、起居動作見守り、屋内歩行では金属支柱付き短下肢装具四点杖使用し、30m連続歩行可能、失禁量減少しトイレでの排泄可能、食事摂取量増加。	移乗時の膝折れ、リハビリパンツ使用、行動範囲が限られる
退院時予測 (入院 3 ヶ月 後)	屋内：装具装着下で伝い歩き、屋外：杖・装具使用し見守り階段昇降は装具・手すり使用し見守り、日中トイレ動作自立、更衣動作自立、調理動作見守り、整容自立、調理自助具使用検討、改造車の案内、自主練習の獲得	入浴介助が課題、普通車の運転動作が難しい、食事セッティングのみ介助（室内歩行器の使用）、自宅での夜間帯のトイレ動作（Pトイレの利用を検討、家族への介助指導）、内服のアドヒアランス不良、同居家族いるため（日常生活動作介助できない）

*病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料③ デマンドから退院3ヶ月後の参加目標

入院期間：3ヶ月

1G

本人から表出
される主観的な
要求・要望

【デマンド】
（変化）

入院時：家に帰りたい、家族に会いたい、階段昇降できるようになりたい、家族に迷惑をかけたくない、普通のものが食べたい、

40日後：娘や夫に面倒や心配をかけたくない、装具無しで歩けるようになりたい、庭での作業を続けたい、調理動作を獲得したい、自動車の運転をしたい、孫たちに絵本の読み聞かせをしたい、夫や娘の愚痴を聞いてあげて、ストレスを軽減してあげたい

検討した内容・選んだ理由等

リハビリの継続、入浴についてデイサービスや訪問リハビリ、訪問看護を活用していく

見守り可能で階段昇降可能であれば自立可能と検討

その人に必要で
退院後3ヶ月以内に実現可能な
要求・要望

【ニーズ】

住宅環境調整や福祉サービスを導入し自宅退院をしたい、階段を一人で登れるようになりたい、入浴以外のADL自立したい、調理動作を獲得したい、喚語困難を軽減したい、家族と交流の手段を確立したい、

日中独居であり、本人・家族の不安をなくしたい

本人の楽しみ、長女への負担軽減になるため

日中独居のため、交流の場を設けることが大事だったため

退院3ヵ月後の
“生きがい”
“楽しみ”

【参加目標】

ローストビーフ作ることができる
家族との交流の場が増えている
花の水やりができる
友達との電話や孫との交流ができる
家族と外出・買い物を一緒に調理することができる

退院までの重点的アプローチ課題	理由（簡潔に記載）
①屋内移動自立、階段昇降動作の獲得 ②入浴以外のADL自立 ③麻痺側管理自立 ④疾病管理の自立	①、②、③日中独居、2階に寝室あるため ④内服薬自己中断していた、血圧測定必要、日中独居
退院後の生活準備課題	検討結果：理由
①住む場所(部屋)・寝室 ②介護が必要な部分とその介護者 ③屋外移動方法 ④緊急時の対応 ⑤他者交流の方法の検討 ⑥栄養指導 ⑦入浴方法の検討 ⑧退院後のサービスの整理 ⑨自宅生活に必要な環境調整 ⑩福祉用具、自助具の検討	①日中は1階で過ごし、寝室の場所は変えず2階 ②寝室に行く際の階段昇降見守り 介護者 夫 洗濯、掃除動作介助、調理動作見守り 介護者 夫、娘 ③見守り、長距離は車いす、送迎での病院受診か訪問看護 ④訪問看護師に連絡、夫、娘の職場に連絡 ⑤不安事項の傾聴、精神面が落ち着きを待つ、フラワーアレンジメントの再開 ⑥疾患の理解、再発の予防、バランスのとれた食事 ⑦サービスでの入浴介助、家族の入浴介助 ⑧訪問リハビリ、訪問看護、通所リハビリ、入浴は、デイ・訪問検討 ⑨玄関、階段、ベッド周り、トイレ ⑩シャワーチェア、レンタルの手すり、住宅改修の申請、自助用の調理器具、食事セッティング時の歩行器

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

1 G

1週間 1ヶ月		デイサービス 週2回 訪問リハビリ 週2回 ヘルパー 週3回 訪問看護 週1回 受診 月1回 火曜日											
時間帯		6時		9時		12時		15時		18時		21時	
本人	セルフケア	起床：自立 立 更衣：自立 血圧測定 朝食：準備は家族の介助 排泄：自立						入浴：サービス利用 昼食：室内歩行器使用し自立 排泄：自立				就寝準備：更衣自 夕食：家族と準備 排泄：自立	
	役割	花の水やり				食事の配膳 子育てへの参加				孫への読み聞かせ 夕飯準備・片付けの手伝い			
家族の支援 (夫娘親)		一日分の内服薬準備 階段昇降見守り 体調確認						内服薬確認 階段昇降見守り 娘訪問（週2回） 夫との買い物（休日） 夫介助でのシャワー浴（休日）					
介護医療		（月1回 火曜日 午前 受診）		（デイサービス、ヘルパーで入浴）		（訪問リハビリ）		（訪問看護）		（宅食サービス）			
その他の支援		友人と共にフラワーアレンジメント参加（月1回）											

3ヶ月後 自宅退院	参加目標	家族との交流の場が増えている（外出、調理、孫との読み聞かせ） 花の水やりができる 友達との交流ができる（電話、フラワーアレンジメント） 家族と買い物に行ける		
		目標	職種の目標	介入内容
退院時	活動	屋内：装具装着下で伝い歩き、屋外：杖・装具使用し見守り 階段昇降は装具・手すり使用し見守り、日中トイレ動作自立、 更衣動作自立、調理動作見守り、整容自立、 調理自助具使用検討、改造車の案内、自主練習の獲得 屋内移動自立 屋外移動見守り 階段昇降見守り 入浴以外のADL自立 調理動作見守り	Dr：下肢装具、肩装具作成。PT：（屋内）装具装着下で伝い歩き、（屋外）杖・装具使用し短距離見守り、長距離移動は車いす、階段昇降は装具・手すり使用し見守り。OT：トイレ・更衣・整容動作自立、調理動作見守り、装具着脱自立。Ns：トイレ・更衣・整容動作自立。SW：介護保険サービスの決定。	Dr：補助具の適合判定。PT：装具を使用した歩行練習、病棟での歩行機会獲得、階段昇降練習、歩行・階段の介助指導、家屋調査の実施。OT：トイレ・更衣・整容動作訓練、調理動作訓練、調理自助具検討、装具着脱練習、家屋調査の実施。Ns：トイレ・更衣・整容動作指導。SW：家屋調査に同行、担当者会議の実施。
	心身機能	大腿四頭筋の筋力、バランステスト45点以上目指す、麻痺側管理、肩装具作成検討、 耐久性向上 右下肢麻痺の改善 右下肢筋力向上 右上肢の巧緻性向上 口腔機能の向上 構音障害の改善 亜脱臼の管理 高次脳機能の改善 血圧管理	PT：下肢機能の向上、バランス機能向上、耐久性向上、麻痺側管理。OT：右上肢機能の向上、麻痺側管理、注意機能の向上。ST：口腔機能の向上、構音障害の改善。Ns：発語の自主トレーニング、異常の早期発見	PT：筋力トレーニング、バランストレーニング、歩行練習。OT：上肢機能訓練、高次脳機能訓練。ST：口腔機能訓練、構音訓練。Ns：発語訓練、血圧・内服管理の指導、異常時の対応指導

* 活動は活動制限, 心身機能は機能障害を含む, 黒字で記載. 自宅生活(環境)を想定し病棟生活(環境)との違いを赤字で修正する.

事前課題用資料A

<健康状態（疾患）>

左視床出血、高血圧、サルコペニア疑い（BMI・アルブミン低値）

- ・麻痺の改善（BRS:Ⅱ/V/Ⅳ）
- ・食事量増加、食事制限なく摂取可能
- ・眠剤内服せず経過
- ・注意、失行障害軽減
- ・発動性の改善

- ・屋内 短下肢装具使用し歩行可能
- ・ADL介助量軽減
- ・FIM 38→72点
- ・失禁が減少
- ・スマホの操作が可能

- ・バイタル安定
- ・再出血リスク低下
- ・体重が2kg増加
- ・夜間浅眠

<心身機能・構造>

バイタルサイン安定、左上肢MMT 4
JCSⅠ-3

<機能・構造障害>

右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ）
感覚障害 筋緊張・深部兼反射亢進
失語（軽度混合型）、高次脳機能障害（注
意・失行）、嚥下・摂食障害（全粥ソフト
食、水分トロミ）、構音障害、耐久性低下、
精神的に不安定

- ・半側空間無視
- ・低頻度語で喚語困難残存
- ・注意、失行障害残存

<活動>

普通型車いす座位可能、起居・移乗動作一部
介助、食事・整容排泄更衣一部介助、車いす
自走見守りレベル

<活動制限>

立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ）
歩行重介助（長下肢装具使用）
入浴全介助、食事中中で介助を要すトイレ
一部介助（オムツ使用）

- ・移乗時に膝折れあり支え必要
- ・複雑な内容のやりとり困難
- ・危険行動、転倒歴あり
- ・リハビリパンツ使用

<参加>

専業主婦、家事全般が役割
孫の子育て
裁縫・お菓子作り、料理、ガーデニング、フ
ラワーアレンジメント教室

<参加制約>

家事ができない
孫との交流ができない
趣味活動ができない

- +・他者との交流
が増加
- ・友人と連絡と
れていない

<環境因子>

58歳の夫（建設会社勤務）と二人暮らし
持ち家
（2階建、1階リビング・キッチン、和室2階寝室）
長女含め協力的
病気への理解良好
装具の作成検討中
介護保険未申請

- ・要介護5、身障手帳未申請
- ・2階に居室あり（調整必要な可能性）
- ・段差が多い（玄関、浴室、階段など）
- ・自宅出入りに難渋する可能性
- ・夫、長女は多忙

<個人因子>

58才、女性
高血圧治療は自己中断繰り返す
社交的で友人付き合いは多かった
家庭内では明るく楽しい
食事好き嫌いが多い
不眠

- ・施設に入りたい
- ・今の姿を友人に
見せたくない
- ・野菜嫌い

提出資料① 機能 変化・予測シート

以下当日課題

2G

	心身機能	機能障害
初回	・バイタルサイン安定 ・左上下肢MMT 4 ・JCS：Ⅰ-3	・右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ） ・感覚障害 筋緊張・深部腱反射亢進 ・失語（軽度混合型） ・高次脳機能障害（注意・失行） ・嚥下摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ） ・構音障害、耐久性低下、精神的に不安定
2回目 カンファ (入院40日後)	・麻痺の改善（BRS:Ⅱ/V/Ⅳ） ・食事量増加、食事制限なく摂取可能 ・眠剤内服せず経過 ・注意、失行障害軽減 ・発動性の改善	・半側空間無視 ・低頻度語で喚語困難残存 ・注意、失行障害残存
退院時予測 (入院4ヶ月後)	・麻痺の改善（BRS:Ⅲ/V/V） ・左上下肢MMT5 ・注意、失行障害軽減 ・見当識、発動性の改善 ・食形態の制限なし ・内服管理自立、疾病管理	・右上下肢運動麻痺残存 ・右上下肢感覚障害残存 ・注意障害（分配性）残存 ・低栄養

提出資料② 活動 変化・予測シート

以下当日課題

2G

	活動	活動制限
初回	・ 普通型車いす座位可能 ・ 起居移乗動作一部介助 ・ 食事整容排泄更衣一部介助 ・ 車いす自走見守りレベル	・ 立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ） ・ 歩行重介助（長下肢装具使用） ・ 入浴全介助 ・ 食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）
2回目 カンファ (入院40日後)	・ 屋内 短下肢装具使用し歩行可能 ・ ADL介助量軽減 ・ FIM 38→72点 ・ 失禁が減少 ・ スマホの操作が可能	・ 移乗時に膝折れあり支え必要 ・ 複雑な内容のやりとり困難 ・ 危険行動、転倒歴あり ・ リハビリパンツ使用
退院時予測 (入院4ヶ月後)	・ 屋内 短下肢装具、T字杖使用し短距離歩行修正自立 ・ 屋外歩行 短下肢装具、T字杖使用し見守り ・ 車の乗降 自立 ・ 食事整容更衣自立 トイレ修正自立（終日） ・ 入浴 見守り～軽介助 ・ 自助具使用し見守りのもと簡単な調理ができる	・ 歩行はプラスチック短下肢装具、歩行補助具が必要 ・ 装具の着脱に時間がかかる ・ 右手は補助手として使用または利き手交換が必要

* 病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料③ デマンドから退院3ヶ月後の参加目標

入院期間： ヶ月 **2G**

本人から表出される主観的な要求・要望 【デマンド】 (変化)	・ 階段昇降自立 ・ 装具なしで歩きたい ・ 庭での作業を続けたい ・ ローストビーフやお菓子が作れるようになりたい ・ 自動車運転がしたい ・ 絵本の読み聞かせができるようになりたい ・ オムツを使わずトイレに行きたい ・ 一人で入浴したい ・ 友人と連絡をとりたい ・ 夫に迷惑をかけるなら施設に入りたい。	検討した内容・選んだ理由等 ・ 家族が多忙なため自分のことを自分でできるように ・ 家族の介護負担の軽減 ・ 孫の世話、調理が本人の役割、いきがいであったため ・ QOLを向上、コミュニティーへの参加拡大として友人との交流を再開する
その人に必要で退院後3ヶ月以内に実現可能な要求・要望 【ニーズ】	・ 装具ありで歩行自立 ・ オムツを使わずトイレに行くことができる ・ 絵本の読み聞かせができる ・ 友人と連絡をとれる ・ 家族と一緒に調理ができる	
退院3ヵ月後の“生きがい”“楽しみ” 【参加目標】	・ 孫との交流ができる ・ 家族と一緒に調理ができる ・ 友人と外出ができる	

退院までの重点的アプローチ課題	理由（簡潔に記載）
①入浴以外の屋内ADL自立 ②麻痺側上下肢機能向上 ③高次脳機能の改善 ④疾病管理の自立 ⑤調理練習、音読練習 ⑥階段昇降	①家族負担の軽減、日中独居の時間があるため ②③ ①を達成するために必要なため、 ④再出血防止のため ⑤QOL向上のため ⑥外出時の練習のため、QOL向上のため
退院後の生活準備課題	検討結果：理由
①住む場所(部屋)・寝室 ②介護が必要な部分とその介護者 ③生計を維持できる収入	①生活拠点を1階に変更、住宅改修（玄関、浴室、階段、トイレ、に手すり福祉用具、介護ベッド導入）が必要：安全面の確保、家族負担の軽減 ②階段昇降（家族の見守り）、洗濯（家族とヘルパー）、入浴（家族、ヘルパー、訪問リハビリ）、調理（訪問リハビリ、家族、ヘルパー）、買い物・掃除（家族と一緒に）、ゴミ出し（家族）： ③変化なし：貯蓄あり、夫の収入あり、介護保険・障害者手帳申請をするため

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

2G

1週間 1ヶ月		・訪問リハビリ（週3回）、ヘルパー（週5回）、病院受診（月1回） ※状況によって、レスパイト入院・ショートステイの提案					
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時	21時
本人	セルフケア	起床、更衣、整容：自立 自立 朝食：自立 内服：自立 昼食：自立 内服：自立 夕食：自立 内服：自立 入浴：介助 排泄： 就寝準備：					
	役割	朝食準備 洗濯・掃除 孫の交流（読み聞かせ） 昼食準備 夕食準備					
家族の支援 (夫娘親)		朝食準備 洗濯・ゴミ出し・掃除（本人ができないところをサポート） 外出 孫との交流時の見守り 夕食準備 内服の確認 買い物					
介護医療		・訪問リハビリ（週3回）、ヘルパー（週5回）、病院受診（月1回）					
その他の支援		・友人のサポートで外出 ・孫との交流のために、自宅へ遊びにきてもらう					

3ヶ月後 自宅退院	参加目標	・孫との交流ができる ・家族と一緒に調理ができる ・友人と外出ができる		
		目標	職種の目標	介入内容
退院時	活動	・屋内 短下肢装具、T字杖使用し短距離歩行修正自立 ・トイレ修正自立（終日） ・食事整容更衣自立 ・屋外歩行 短下肢装具、T字杖使用し見守り ・車の乗降 自立 ・入浴 見守り～軽介助 ・自助具使用し見守りのもと簡単な調理ができる	NS・PT:終日杖歩行プラスチック装具装着下で屋内自立（着脱含め）。屋外は見守り～軽介助で15分歩行。 NS・OT・CW：布パンツで終日排泄が修正自立。入浴 見守り～軽介助、食事整容更衣自立。 OT・ST：自助具使用し見守りのもと簡単な調理ができる。 PT・OT：車の乗降が自立。 ST：家族や友人と複雑な内容のやり取りができる。 PT・OT・MSW：住環境整備実施。	PT：階段昇降含めて歩行訓練。家族指導 PT・OT：車の乗降訓練。家族指導。 NS・CW・OT：方法を統一し食事、整容、更衣、トイレ動作練習 OT：調理練習、自助具選定、家族指導 CW・OT：入浴動作練習。家族指導 ST：低頻度語の呼称練習、説明練習、音読練習、注意課題の実施、家族指導 MSW：サービス調整の選定、ケアカンファレンスの実施、 PT・OT・MSW：住環境整備
	心身機能	・麻痺の改善（BRS:Ⅲ/V/V） ・左上下肢MMT5、BBS46点以上 ・注意、失行障害軽減、見当識、発動性の改善 ・内服管理自立、疾病管理 ・連続立位2.30分可能 ・床上動作 見守り	NS：カレンダーを使用し、内服管理が自立。血圧測定・記録の自立。 PT・OT：麻痺の改善（BRS:Ⅲ/V/V） ・左上下肢MMT5、BBS46点以上 OT・ST：注意、失行障害軽減、見当識、発動性の改善	Dr：病状説明 NS・OT：服薬、血圧管理指導。家族指導 PT・OT：階段,床上動作,歩行バランス訓練、上肢機能訓練、利き手動作訓練、運搬動作を含む、応用歩行練習 OT・ST：注意課題、見当識確認 CN：栄養指導

*活動は活動制限、心身機能は機能障害を含む。黒字で記載。自宅生活（環境）を想定し病棟生活（環境）との違いを赤字で修正する。

事前課題用資料A

<健康状態（疾患）>

左視床出血、高血圧、サルコペニア疑い（BMI・アルブミン低値）
不眠 うつ状態の疑い

○食事摂取量が安定している。
○精神的な落ち込みは軽減傾向。
○BRS上肢Ⅱ、手指Ⅴ、下肢Ⅳ
○左上下肢MMT4で維持
○BIT 1 4 0点で半側空間無視症状は軽減

○起居動作が見守り。
○30mの短下肢装具+四点杖歩行が可能。
○食形態は制限なし。ムセも消失。
○失禁減少している。

○血圧安定し再発リスクは低い。
○体重2kg増加した。
○不眠改善傾向
●低栄養状態は残存している。

<心身機能・構造>

バイタルサイン安定、左上下肢MMT4
JCSⅠ-3

<機能・構造障害>

右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ）
感覚障害 筋緊張・深部兼反射亢進
失語（軽度混合型）、高次脳機能障害（注
意・失行）、嚥下・摂食障害（全粥ソフト
食、水分トロミ）、構音障害、耐久性低下、
精神的に不安定

●夜間は熟睡感が得られていない。
●必要時のナースコールは曖昧。
→単独移乗で一度転倒あり。
●失語症による喚語困難は残存。
●注意障害は残存

<活動>

普通型車いす座位可能、起居・移乗動作一部
介助、食事・整容排泄更衣一部介助、車いす
自走見守りレベル

<活動制限>

立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ）
歩行重介助（長下肢装具使用）
入浴全介助、食事中中で介助を要すトイレ
部介助（オムツ使用）

●移乗時の膝折れは残存し介助必要。
●ADL全般に一部介助必要。
●リハビリパンツは必要。

<参加>

専業主婦、家事全般が役割
孫の子育て
裁縫・お菓子作り、料理、ガーデニング、フ
ラワーアレンジメント教室

<参加制約>

家事ができない
孫との交流ができない
趣味活動ができない

<環境因子>

58歳の夫（建設会社勤務）と二人暮らし
持ち家
（2階建、1階リビング
・キッチン、和室2階寝室）
長女含め協力的
病気への理解良好
装具の作成検討中
介護保険未申請

○介護保険：要介護5
●身障手帳：未申請
●短下肢装具が必要
●住宅ローンは残っている
●長女は家事・仕事・育児が忙し
く頼りにくい。

<個人因子>

58才、女性
高血圧治療は自己中断繰り返し
社交的で友人付き合いは多かった
家庭内では明るく楽しい
食事好き嫌が多い
不眠

○他者から話しかけられ
ると応じることは可能。
○面会中の笑顔が増えた。
●友人との交流はできて
いない。
●リハビリに関して焦り
がある。
●趣味の自動車運転した
いが現状困難

提出資料① 機能 変化・予測シート

以下当日課題

3G

	心身機能	機能障害
初回	・バイタルサイン安定 ・左上下肢MMT 4 ・JCS：Ⅰ-3	・右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ） ・感覚障害 筋緊張・深部腱反射亢進 ・失語（軽度混合型） ・高次脳機能障害（注意・失行） ・嚥下摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ） ・構音障害、耐久性低下、精神的に不安定
2回目 カンファ (入院40日後)	○食事摂取量が安定している。 ○精神的な落ち込みは軽減傾向。 ○BRS上肢Ⅱ、手指Ⅴ、下肢Ⅳ ○左上下肢MMT4で維持 ○BIT 1 4 0点で半側空間無視症状は軽減	●夜間は熟睡感が得られていない。 ●必要時のナースコールは曖昧。 →単独移乗で一度転倒あり。 ●失語症による喚語困難は残存。 ●注意障害は残存
退院時予測 (入院6ヶ月後)	普通食にて食事全量摂取が可能。 BRS上肢Ⅲ、手指Ⅵ、下肢Ⅴ 日常生活上に支障ないレベルまで注意機能改善	麻痺側上肢は補助手レベル 不眠時は適宜服薬コントロールが必要

提出資料② 活動 変化・予測シート

以下当日課題

3G

	活動	活動制限
初回	・普通型車いす座位可能 ・起居移乗動作一部介助 ・食事整容排泄更衣一部介助 ・車いす自走見守りレベル	・立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ） ・歩行重介助（長下肢装具使用） ・入浴全介助 ・食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）
2回目 カンファ (入院40日後)	○起居動作が見守り。 ○30mの短下肢装具+四点杖歩行が可能。 ○食形態は制限なし。ムセも消失。 ○失禁減少している。	●移乗時の膝折れは残存し介助必要。 ●ADL全般に一部介助必要。 ●リハビリパンツは必要。
退院時予測 (入院6ヶ月後)	移乗動作自立 病棟内杖歩行自立 短下肢装具（SLB・SPS）着用下にて室内伝い歩き自立 食事・整容・更衣・トイレ動作は修正自立 失禁消失し普通パンツ使用 手すり使用し階段昇降は可能 薬包の開封は自己にて可能 入浴は補助具（シャワーチェア・ブラッシング）を活用し自立 調理は一品ずつであれば見守りのみで可能 自動車運転 麻痺側でのアクセル等危険？ 改造車 何故運転が必要か？→理由によっては本人が運転しなくても良いのでは？ 教習所で運転支援（OT、ST） 高次脳の評価をしてDrと相談 SDSA（評価ツール）をとってカンファレンス時にDrに報告し検討する 運転シュミレーターを活用する 運転できる可能性がある方はENT後再評価し教習所へ案内する 評価して多職種と検討して、運転が危険な場合は代替案を本人家族へ提案する 本人が家族の役に立ちたい思いがあり代替案を出すことが良いのかどうか・・・ 手段・目的含め自動車運転の可能性を検討	屋外杖歩行はスタッフ見守りが必要 清拭は補助具の使用が必要 看護師介入下での服薬自己管理の練習中 バイタル自己管理の練習中 4カ月を想定した場合・・・ 病棟内ADL歩行自立まで達成可能か 本人の意向を確認しながらENT調整や実際に外出外泊してチェックシートを活用しながらENT後のイメージをつけ、生活を想定した訓練を行う 残り2カ月で家事動作等の応用動作や方向転換等の獲得を目指して訓練

提出資料③ デマンドから退院3ヶ月後の参加目標

入院期間： 6ヶ月 3G

本人から表出される主観的な要求・要望 【デマンド】 (変化)	しっかり良くなって帰りたい→麻痺や後遺症を直したい 一人でなんでも出来るようになりたいに入りたい 庭の作業を続けたい おむつを使わず済むようになりたい お風呂は一人で入れるようになりたい 孫に絵本を読み聞かせたい 料理とお菓子、ローストビーフを家族に作りたい 自動車の運転が出来ないと困ります 装具なしで歩けるようになりたい 家族に迷惑をかけたくない。普通のものが食べたい 再発が心配です	検討した内容・選んだ理由等 デマンドは、自分のことは自分で出来るようになる。 家族迷惑をかけたくない。 身辺動作の自立獲得が必須でADL/IADLの一部獲得は必要。家庭内での役割を提案する必要がある。
その人に必要で退院後3ヶ月以内に実現可能な要求・要望 【ニーズ】	おむつを使わず済むようになりたい トイレ自立 孫に絵本を読み聞かせたい 洗濯物畳み	
退院3ヵ月後の“生きがい” “楽しみ” 【参加目標】	孫に読み聞かせをする 家事を行うことが出来る ご家族と協力して調理が出来る	

退院までの重点的アプローチ課題	理由（簡潔に記載）
①屋外歩行自立 ②ADLは修正自立 ③家事動作見守り ④自動車運転の可能性を検討	①趣味や娘宅への訪問、買い物や通院等の為。 ②日中独居の時間が長いため。 ③本人の役割（主婦・生きがい）として必要。 ④本人の意向や精神的な支えとして検討することが必要。
退院後の生活準備課題	検討結果：理由
①住む場所(部屋)・寝室 ②介護が必要な部分とその介護者 ③生計を維持できる収入 ④IADL動作 ⑤ガーデニング	①自宅内伝い歩き自立。日中はリビングで過ごす。寝室を1階の洋室に変更。トイレは手すり設置を設置。入浴は装具無しで跨ぎ動作自立。シャワーチェアの購入や脱衣所に手すりを設置することは必要。 ②手すり等の支持物を使用。退院後すぐの外出や慣れていない外出先によっては介護者（夫）の付添が必要。 ③収入は変化無いが、支出が増加する可能性あり。 ④調理はキッチンに高い椅子を設置。患側の上肢が挙上できるかによって座って調理するか適宜休憩場所として椅子を使用するかは検討。カット野菜等の活用。調理器具の工夫。調味料等の配置を再検討。掃除や洗濯は家族と一緒に実施。買い物は家族と行くか1人で行くのであれば買ったものの配達を依頼する。週に1～2回まとめ買いをしていただく。 チェックリストを用いて家族にチェックしてもらった上で動作して頂くと安全。 ⑤ガーデニングは装具着用し手すりを把持しながら水やりは可能。椅子等の環境設定が必要。

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

3G

1週間 1ヶ月		買い物/週 通院/週 フラワーアレンジメント/ 外食/週					
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時	21時
本人	セルフケア	起床:自立 更衣:自立 内服:自立 朝食:自立 昼食:自立 夕食:自立 セルフケア:修正自立					
	役割	調理	料理の片づけ 洗濯・掃除	ガーデニング	孫との交流	料理の片づけ 夫とのひととき	
家族の支援 (夫娘親)		買い物週1回					
介護医療		・通院（定期受診）					
その他の支援		・友人との関りにて協力を得られれば一緒に買い物等をお願いする					

3ヶ月
自宅退院後

参加目標

- ①孫に読み聞かせをする
- ②家事を行うことが出来る
- ③ご家族と協力して調理が出来る

		目標	職種の目標	介入内容
退院時	活動	歩行自立 ADLは修正自立 調理は一品ずつであれば見守りのみで可能 自動車運転は手段・目的を含め可能性を検討 日常会話は可能	PT：屋外は短下肢装具（SLB・SPS）で自立・屋内は装具なし伝い歩き自立 OT：入浴は補助具（シャワーチェア・ブラッシング）を活用し自立・自宅環境を想定した調理動作が可能 運転可能かどうかの引継ができる NS：内服自己管理 全職種：退院後の生活様式の設定 SW：環境調整ができる	PT：歩行練習・立位保持練習 OT：入浴動作練習・調理訓練・高次脳機能訓練 ST：言語訓練・嚥下訓練・日常会話練習 NS：排泄・入浴・歩行を入院生活反映・内服薬→開封練習と習慣づけ（方法の提案） SW：自宅改修の手配・身体障害者手帳の申請 全職種：退院後の生活のすり合わせ
	心身機能	普通食にて食事全量摂取が可能。 BRS上肢Ⅲ、手指Ⅵ、下肢Ⅴ 日常生活に支障のないレベルの注意機能改善 血圧が正常範囲で管理される	PT：麻痺側機能の改善・歩行距離の延長 OT：日常生活で麻痺側上肢を補助手として活用できる・自身で危険予測ができる NS：血圧管理の意識付	PT：歩行訓練・立位保持練習・促通療法 OT：促通療法・感覚入力・随意運動練習・高次脳機能訓練 NS：自動血圧計での測定を促す

事前課題用資料A

<健康状態（疾患）>

左視床出血、高血圧、サルコペニア疑い（BMI・アルブミン低値）

プラス 全身状態安定、食事制限無し。
非麻痺側の能力保たれている。
体幹保たれている（起居活動）
右の手指、下肢、失行改善、麻痺
USN（BIT）改善、机上レベルで注意機
能改善（コース立方体IQ：93）

プラス 車椅子座位可能、FIM改善、
失禁減少（リハパン使用）、
歩行（四点杖、装具つけると30m歩行
可能）

血圧、脈拍安定、再出血リスク低下
BMI17.44に改善。

<心身機能・構造>

バイタルサイン安定、左上肢MMT 4
JCS I-3

<機能・構造障害>

右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ）
感覚障害 筋緊張・深部兼反射亢進
失語（軽度混合型）、高次脳機能障害（注
意・失行）、嚥下・摂食障害（全粥ソフト
食、水分トロミ）、構音障害、耐久性低下、
精神的に不安定

マイナス 右上肢機能改善無し
高次脳機能障害（脱抑制等）
感覚低下

<活動>

普通型車いす座位可能、起居・移乗動作一部
介助、食事・整容排泄更衣一部介助、車いす
自走見守りレベル

<活動制限>

立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ）
歩行重介助（長下肢装具使用）
入浴全介助、食事中中で介助を要すトイレ
部介助（オムツ使用）

マイナス 介助が必要、耐久性低
下、ナースコール曖昧、転倒リス
ク、

<参加>

専業主婦、家事全般が役割
孫の子育て
裁縫・お菓子作り、料理、ガーデニング、フ
ラワーアレンジメント教室

<参加制約>

家事ができない
孫との交流ができない
趣味活動ができない

<環境因子>

58歳の夫（建設会社勤務）と二人暮らし
持ち家
（2階建、1階リビング・キッチン、和室2階寝室）
長女含め協力的
病気への理解良好
装具の作成検討中
介護保険未申請

退院後家族不安、要介護5、身障
手帳未申請、長女タスク有り

<個人因子>

58才、女性
高血圧治療は自己中断繰り返す
社会的で友人付き合いは多かった
家庭内では明るく楽しい
食事好き嫌いが多い
不眠

保留 単独行動

マイナス 友人に会いたくない、家族に
心配をかけたくない。熟睡感がない。

プラス 高血圧治療中断せず。治療
他者との交流が増えた。精神面安定

提出資料① 機能 変化・予測シート

以下当日課題

4G

	心身機能	機能障害
初回	・バイタルサイン安定 ・左上下肢MMT 4 ・JCS：Ⅰ-3	・右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ） ・感覚障害 筋緊張・深部腱反射亢進 ・失語（軽度混合型） ・高次脳機能障害（注意・失行） ・嚥下摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ） ・構音障害、耐久性低下、精神的に不安定
2回目 カンファ (入院40日後)	全身状態安定、食事制限無し。 非麻痺側の能力保たれている。 体幹保たれている（起居活動） 右片麻痺改善 （BRS上肢Ⅱ、手指Ⅴ、下肢Ⅳ） 失行改善 USN（BIT）改善、机上レベルでの注意 機能改善	右上肢機能改善無し 高次脳機能障害（脱抑制等） 感覚低下
退院時予測 (入院 4 ヶ月 後)	起居動作 自立、歩行改善、体幹改善 高次脳改善 （危険行動減少 注意） 下肢改善 全身状態安定、栄養状態改善、血圧安定、 リスク低下、精神面改善（役割意欲あり）	右片麻痺（BRS上肢Ⅳ、手指Ⅴ、下肢Ⅴ） 装具有 種類：シューホーン 右上肢機能 補助的 利き手交換必要 筋緊張高い 歩容心配（つまづきやすい） 喚語困難残存

*病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料② 活動 変化・予測シート

以下当日課題

4G

	活動	活動制限
初回	・ 普通型車いす座位可能 ・ 起居移乗動作一部介助 ・ 食事整容排泄更衣一部介助 ・ 車いす自走見守りレベル	・ 立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ） ・ 歩行重介助（長下肢装具使用） ・ 入浴全介助 ・ 食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）
2回目 カンファ (入院40日後)	車椅子座位可能、FIM改善、失禁減少（リハパン使用）、歩行（四点杖、装具つけると30m歩行可能）	生活の介助が必要 耐久性低下 ナースコール曖昧 転倒リスク
退院時予測 (入院__4ヶ月後)	ADL自立（入浴修正自立） 歩行（屋内：杖、装具なし→あり、浴室：装具無） トイレ 普通トイレ 布パンツ+パッド着用 バイタルのセルフモニターが可能 服薬：カレンダー使用し自己管理	IADL 家族見守り（注意障害） 屋外歩行：見守り（装具有、1本杖） 階段昇降は要環境調整

*病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料③ デマンドから退院3ヶ月後の参加目標

入院期間： 4ヶ月 **4G**

本人から表出される主観的な要求・要望 【デマンド】 (変化)	家に帰りたい、家族に会いたい 家族に迷惑をかけたくない。何でも1人でできるようになりたい。(お風呂など) 趣味活動(ガーデニング)を再開したい。 見舞いの人と会いたくない→友人との交流を再開したい。 夫に好物を作ってあげたい、孫に読み聞かせをしたい	検討した内容・選んだ理由等 自分の事(家に帰りたい、家族に会いたい)から、家族の事(夫の好物を作りたいなど)についての要望が表出されてきている。退院後の生活について希望を見出している。
その人に必要で退院後3ヶ月以内に実現可能な要求・要望 【ニーズ】	身辺動作 布の下着の使用。 血圧の薬、自己中断 服薬管理自立を目指せる 屋外歩行・階段昇降自立(環境調整や装具は必要) 調理・洗濯・掃除(家族の見守り～簡単な料理で自立)	退院後、趣味など自分の事についての充足感も今後、必要になってくる。
退院3ヵ月後の“生きがい”“楽しみ” 【参加目標】	家族の為に美味しい食事(夕食)を作る 掃除や洗濯など、今まで行っていた家庭内役割を再開できる お孫さんへの読み聞かせ 趣味(ガーデニング・フラワーアレンジメント)	

退院までの重点的アプローチ課題	理由（簡潔に記載）
①階段を含む室内ADL動作自立 ②IADL動作の再獲得 ③血圧・内服自己管理の自立 ④喚語困難の軽減	①室内のADL自立を目指しているため/非利き手での動作獲得のため ②役割再獲得のため ③再発防止のため(病前服薬の自己中断があり今回の発症につながっている) ④家族とのコミュニケーションや孫への読み聞かせのため
退院後の生活準備課題	検討結果：理由
①住む場所(部屋)・寝室 ②介護が必要な部分とその介護者 ③生計を維持できる収入 ④福祉用具 ⑤福祉サービス	① ■日中生活する場所：1階…リビングにて生活し、できる限りの家事動作を行う(洗濯：衣類を畳む、調理：野菜を切る・味を調える、掃除：机を拭く、などの部分的な動作から行う) ■寝室：1階…転倒リスクの軽減 2階…家族の寝室に近い(安心)、階段昇降動作機会の提供、環境変更によるストレス軽減 ② 介助が必要な動作：(1)退院初期は浴槽移乗見守り…夫 (2)階段昇降見守り…夫 (3)家事動作…主に夫 (4)買い物・公共交通機関を使用する際の屋外歩行見守り…夫 (5)昼食…配食サービス ③ ■ ④ キャスター付き台車(運搬用)、手すり：階段(玄関/室内)・浴室内・トイレ ⑤ 訪問リハビリ(ADL・IADLに関して家の環境設定が可能)、配食サービス

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

4G

1週間 1ヶ月		定期受診：2週間に1回、訪問リハビリ：週3回					
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時	21時
本人	セルフケア	・起床 ・朝食 ・整容 ・更衣		・昼食 ・排泄		・夕食	・入浴 ・整容 ・就寝 ・排泄
	役割	衣 食事の準備 排泄	洗濯/掃除	配食サービスの受け取り		夕飯の準備	
家族の支援 (夫娘親)		食事の準備（夫）				食事の準備（夫） 入浴時、階段昇降の見守り（夫） 内服の確認（夫）	
介護医療		訪問リハビリ(月・木) →調理など家事動作 ※月曜日は娘にみてもらう		配食サービス		訪問リハビリ(土) →入浴	
その他の支援							

※月曜日は長女の関わりがあるため、訪問リハでの動作確認もしてもらう。

3ヶ月後 自宅退院	参加目標	家族の為に美味しい食事（夕食）を作る 掃除や洗濯など、今まで行っていた家庭内役割を再開できる お孫さんへの読み聞かせ 趣味（ガーデニング・フラワーアレンジメント）		
		目標	職種の目標	介入内容
退院時	活動	ADL自立（入浴修正自立） 歩行（屋内：杖、装具なし→あり、浴室：装具無） トイレ 普通トイレ 布パンツ+パッド着用 バイタルのセルフモニターが可能 服薬：カレンダー使用し自己管理 IADL 家族見守り（注意障害） 屋外歩行：見守り（装具有、1本杖） 階段昇降は要環境調整	PT/Ns・病棟内移動：フリーハンド歩行自立(装具あり) OT/Ns/CW・入浴動作自立 PT/OT/Ns/CW・終日トイレ動作自立 Ns・1週間内服自己管理自立 Ns・毎日バイタル記録可能	・内服管理の指導 ・バイタル測定・記録の指導 ・ADL動作方法の指導 ・歩行訓練、装具の設定 ・家族指導：屋外歩行、装具着脱、薬の説明/ 内服管理方法、入浴動作、セルフストレッチ
	心身機能	起居動作 自立、歩行改善、体幹改善 高次脳改善（危険行動減少 注意）下肢改善 全身状態安定、栄養状態改善、血圧安定、 リスク低下、精神面改善（役割意欲あり） 右片麻痺（BRS上肢Ⅳ、手指Ⅴ、下肢Ⅴ） 装具有 種類：シューホーン右上肢機能 補助的 利き手交換必要 筋緊張高い 歩容心配 （つまづきやすい）喚語困難	PT/OT/Ns/CW・装具の着脱(筋緊張の把握込み) OT・非利き手での操作性向上 OT・麻痺側上肢の補助的活用に伴う自己管理 ST・発語の改善	・両下肢/体幹ストレッチ、物理療法、機能訓練 ・装具着脱訓練 ・両上肢機能訓練 ・麻痺側上下肢セルフストレッチ指導 ・失語症訓練

*活動は活動制限、心身機能は機能障害を含む、黒字で記載。自宅生活(環境)を想定し病棟生活(環境)との違いを赤字で修正する。

ICF

<健康状態（疾患）>

左視床出血、高血圧、サルコペニア疑い（BMI・アルブミン低値）

事前課題用資料A

全身状態の安定、精神的安定、内服変更なし・BRS右手指Ⅴ右下肢Ⅳ改善・嚥下機能問題なし・水分ムセなし全量常食摂取可能・失禁なし・高次脳改善〈BIT点数改善、失行軽減〉・失語症改善・耐久性向上

短下肢装具で連続歩行30m可能・ADL一部介助まで改善・起居動作見守り、移乗動作一部介助で可能・トイレ内排泄・失語改善で他者とのコミュニケーション可能・ラインでの会話が可能・眠剤、希望時頓服に変更

GLIM基準では低栄養
体重は2kg増加し改善傾向

<心身機能・構造>

バイタルサイン安定、左上肢MMT 4
JCSⅠ-3

<機能・構造障害>

右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ）
感覚障害 筋緊張・深部兼反射亢進
失語（軽度混合型）、高次脳機能障害（注意・失行）、嚥下・摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ）、構音障害、耐久性低下、精神的に不安定

右上肢BrsⅡ残存・夜間熟睡できていない・注意障害残存（半側空間無視）・低頻度語、喚語困難あり・認知機能低下（見当識障害あり）・危機管理能力低下

<活動>

普通型車いす座位可能、起居・移乗動作一部介助、食事・整容排泄更衣一部介助、車いす自走見守りレベル

<活動制限>

立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ）
歩行重介助（長下肢装具使用）
入浴全介助、食事中中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）

連続歩行30m以上は困難・病棟での転倒歴あり・NC曖昧・移乗時に膝折れしないよう介助が必要・失禁あり・階段昇降自立できていない・入浴動作自立できていない

<参加>

他者との交流できている、専業主婦、家事全般が役割・孫の子育て
裁縫・お菓子作り、料理、ガーデニング、フラワーアレンジメント教室

<参加制約>

家事ができない
孫、友人との交流ができない
趣味活動ができない
自動車運転できていない

<環境因子>

58歳の夫（建設会社勤務）と二人暮らし
持ち家
（2階建、1階リビング・キッチン、和室2階寝室）
長女含め協力的
病気への理解良好
装具の作成検討中
介護保険未申請

要介護5所得
身体障害者手帳未申請

<個人因子>

58才、女性
高血圧治療は自己中断繰り返す
社交的で友人付き合いは多かった
家庭内では明るく楽しい
食事好き嫌が多い
不眠

野菜ジュースなら
飲める

提出資料① 機能 変化・予測シート

以下当日課題

5G

	心身機能	機能障害
初回	・バイタルサイン安定 ・左上下肢MMT 4 ・JCS：Ⅰ-3	・右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ） ・感覚障害 筋緊張・深部腱反射亢進 ・失語（軽度混合型） ・高次脳機能障害（注意・失行） ・嚥下摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ） ・構音障害、耐久性低下、精神的に不安定
2回目 カンファ (入院40日後)	・全身状態の安定、精神的安定、内服変更なし ・BRS右手指Ⅴ、右下肢Ⅳ改善 ・嚥下機能向上問題なし ・水分ムセなし 全量常食摂取可能 ・失禁なし ・高次脳改善〈BIT点数改善、失行軽減〉 ・失語症改善 ・耐久性向上	・右上肢BrsⅡ残存 ・夜間熟睡できていない ・注意障害残存（半側空間無視） ・低頻度語、喚語困難あり ・認知機能低下（見当識障害あり） ・危機管理能力低下
退院時予測 (入院 5ヶ月 後)	・BRS手指Ⅵ右下肢Ⅴ ・認知、高次脳機能改善 ・危機管理能力向上 ・日常会話問題なし	・BRS上肢Ⅲ（補助手） ・感覚障害残存

*病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料② 活動 変化・予測シート

以下当日課題

5G

	活動	活動制限
初回	・普通型車いす座位可能 ・起居移乗動作一部介助 ・食事整容排泄更衣一部介助 ・車いす自走見守りレベル	・立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ） ・歩行重介助（長下肢装具使用） ・入浴全介助 ・食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）
2回目 カンファ (入院40日後)	・短下肢装具で連続歩行30m可能 ・ADL一部介助まで改善 ・起居動作見守り、移乗動作一部介助で可能 ・トイレ内排泄 ・失語改善で他者とのコミュニケーション可能 ・ラインでの会話が可能 ・眠剤、希望時頓服に変更	・連続歩行30m以上は困難 ・病棟での転倒歴あり ・NC曖昧 ・移乗時に膝折れしないよう介助が必要 ・失禁あり ・階段昇降自立できていない ・入浴動作自立できていない
退院時予測 (入院5ヶ月後)	・短下肢装具屋内伝い歩き・独歩自立、屋外T-cane自立 ・トイレ終日自立 ・入浴修正自立 ・階段昇降修正自立 ・自動車運転自立 ・IADL自立（掃除・洗濯）	不整地での応用動作困難（庭作業）

*病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料③ デマンドから退院3ヶ月後の参加目標

入院期間： 5ヶ月 5G

本人から表出される主観的な要求・要望 【デマンド】 (変化)	家に帰りたい⇒しっかりよくなってから帰りたい、家族に迷惑をかけたくない 普通の物を食べたい、再発が心配です、寝室が2階にある為階段昇降ができるようになりたい、装具を使わないで歩けるようになりたい、友人が見舞いにきてくれるが、今の姿を見せたくない、ローストビーフが作れるようになりたい、孫の好きなお菓子が作れるようになりたい、孫たちに絵本を読み聞かせるのができるようになりたい、自動車の運転ができるようになりたい（できなくて困っている） 友人と連絡をとりたい、人に迷惑かけるようなら施設に入りたい、オムツを使わなくて済むようになりたい、風呂は1人で入れるようになりたい、庭での作業をしたい	検討した内容・選んだ理由等 入院時は自分の状態のみ不安であったが経過を追う事に家族のことや運転の再開等視野を広く持てるようになった 病前での主婦としての役割の再獲得が必要となる為IADL・自動車運転の自立が必要 庭での作業⇒退院直後は困難ではあるが、訪問リハビリを通して再開ができるか検討
その人に必要で退院後3ヶ月以内に実現可能な要求・要望 【ニーズ】	自動車の運転ができるようになりたい 料理ができるようになりたい オムツを使わなくて済むようになりたい 風呂は1人で入れるようになりたい 孫たちに絵本を読み聞かせるのができるようになりたい 友人と連絡をとりたい	自動車の改造が必要 （自立レベルまで到達するも、退院後自動車学校等に出向き改造車の検討等していく必要あり）
退院3ヵ月後の“生きがい”“楽しみ” 【参加目標】	料理とガーデニング 自動車運転 フラワーアレンジメント（周りの補助あり） 孫の子育て 友人との外出	

退院までの重点的アプローチ課題	理由（簡潔に記載）
①歩行（歩行距離延長、運搬動作） ②IADL（洗濯、料理） ③高次脳機能改善 ④利き手交換 ⑤内服管理、栄養指導 ⑥家屋評価、リハビリ指導	①買い物等、外出頻度を増やす為 ②家庭内役割の再獲得 ③日常生活自立、自動車運転再開には必須 ④ガーデニング、フラワーアレンジメント、家事動作の為に必須 ⑤再発防止 ⑥自宅での転倒防止
退院後の生活準備課題	検討結果：理由
①住む場所(部屋)・寝室 ②介護が必要な部分とその介護者 ③生計を維持できる収入 ④自宅改修 ⑤福祉用具 ⑥環境設定	①寝室は2階のまま。日中はリビングで生活。 ②買い物、通院（夫、娘）、フラワーアレンジメント（友人）、一部の家事動作（夫、両親） ③夫の収入 ④玄関アプローチ、上がり框、階段（両側）、1階トイレ、浴室手すり、ウッドデッキ、敷居の撤廃又はスロープ ⑤シャワーチェア、椅子（靴着脱用）、寝室（タッチアップ） ⑥家電、マット、床の花瓶等

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

5G

1 週間 1 ヶ月		毎週末 買い物（家族付き添い） 週2回 訪問リハビリ（PT,OT） 月1回 受診（家族付き添い） 週2～3回 家事援助（母） 週2～3 家事援助（娘）					
時間帯		6 時	9 時	12 時	15 時	18 時	21 時
本人	セルフ ケア	起床；自立 準備 更衣；自立 整容；自立 朝食；自立 昼食；自立 就寝 入浴；自立 夕食；自立					
	役割	朝食準備、後片付け 洗濯、掃除（リビング） 水やり 昼食準備、後片付け 孫の世話 夕食準備、後片付け 水やり					
家族の 支援 (夫娘親)		家族水やり 夫配膳、服薬確認 母、娘洗濯 母、娘調理 家族水やり 夫配膳					
介護 医療		週2回訪問リハビリ					
その他の 支援		外出援助（友人）					

3ヶ月後 自宅退院	参加目標	料理とガーデニング、自動車運転、フラワーアレンジメント（周りの補助あり）、孫の子育て、友人との外出		
		目標	職種の目標	介入内容
退院時	活動	- 短下肢装具屋内伝い歩き・独歩自立、屋外T-cane自立 - トイレ終日自立 - 入浴修正自立 - 階段昇降修正自立 - 自動車運転自立 - IADL自立（掃除・洗濯・料理・金銭管理） - 買い物は家族付き添い又はネット（一人で行く際は出先の配送サービス活用） - 趣味活動の再獲得	PT・Nrs；移動自立（屋内伝い歩き・独歩、屋外T-cane）、階段昇降修正自立 OT・Nrs；トイレ、入浴自立 OT；運搬動作の自立、IADL家族援助のもと自立 ST；自動車運転練習が行える教習所への橋渡し PT・OT・ST・Nrs・CW；趣味活動再獲得の援助	PT・Nrs；動的立位バランス練習、歩行（屋内外）訓練、階段昇降訓練、装具の着脱練習 OT・Nrs；OTで評価し、Nrsに指導 OT；床上訓練、家族指導、運搬動作の練習、IADL訓練 ST；机上検査、教習所の情報収集・提供 リハビリ職で評価し、NrsやCWに指導、伝達
	心身機能	- BRS手指Ⅵ右下肢Ⅴ - 認知、高次脳機能改善 - 危機管理能力向上 - 日常会話問題なし	Dr・Nrs；疾患安定 Nrs・OT；内服薬管理自立 PT；立位、歩行の耐久性向上 OT；利き手交換獲得、体幹機能の向上 ST；認知、高次脳機能改善、失語症改善	Dr・Nrs；病状説明 Dr；装具の選定、内服調整、痙攣治療、服薬指導・栄養指導の依頼 ALL；面談 Nrs・OT；開封動作（服薬）訓練、管理方法の決定 PT；立位、歩行訓練 OT；利き手交換練習、体幹筋力強化練習 ST；認知・高次脳機能訓練、言語訓練

*活動は活動制限、心身機能は機能障害を含む。黒字で記載。自宅生活（環境）を想定し病棟生活（環境）との違いを赤字で修正する。

ICF

<健康状態（疾患）>

左視床出血、高血圧、サルコペニア疑い（BMI・アルブミン低値）

事前課題用資料A

- Br -stage II - V - IV
- 高次脳機能障害改善傾向
- 嚥下障害改善傾向、食形態制限なし

- 起居見守り
- 介助歩行導入予定
- 装具 + 杖で30m歩行可
- FIM運動項目改善（45点へ）

- 喫食量安定、低栄養改善傾向
- 体重増加傾向
- 全身状態安定
- 熟眠感は得られていない
- 内服変更なし

<心身機能・構造>

バイタルサイン安定、左上肢MMT 4
JCS I-3

<機能・構造障害>

右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ）
感覚障害 筋緊張・深部兼反射亢進
失語（軽度混合型）、高次脳機能障害（注
意・失行）、嚥下・摂食障害（全粥ソフト
食、水分トロミ）、構音障害、耐久性低下、
精神的に不安定

- 高次脳機能障害残存
- 運動麻痺残存

<活動>

普通型車いす座位可能、起居・移乗動作一部
介助、食事・整容排泄更衣一部介助、車いす
自走見守りレベル

<活動制限>

立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ）
歩行重介助（長下肢装具使用）
入浴全介助、食事中中で介助を要すトイレ
一部介助（オムツ使用）

- コール未定着
- 自立範囲は拡大していない
- 移乗軽介助、ADL一部介助
- 失禁残存（減少傾向ではある）
- 車椅子操作未獲得
- 転倒している

<参加>

専業主婦、家事全般が役割
孫の子育て
裁縫・お菓子作り、料理、ガーデニング、フ
ラワーアレンジメント教室

<参加制約>

家事ができない
孫との交流ができない
趣味活動ができない

<環境因子>

58歳の夫（建設会社勤務）と二人暮らし
持ち家
（2階建、1階リビング・キッチン、和室2階寝）
長女含め協力的
病気への理解良好
装具の作成検討中
介護保険未申請

<個人因子>

58才、女性
高血圧治療は自己中断繰り返し返す
社交的で友人付き合いは多かった
家庭内では明るく楽しい
食事好き嫌が多い
不眠

- 家族/友人は協力的
- ベッドで就寝、浴室内に手すり
- 要介護5あり
- 長女が週3回パート勤務
- 両親も近隣在住（車で5分程度）

- 回復に意欲的
- 眠剤希望時内服
- 運転再開希望
- 誰かの役に立ちたい気持ちが強い
- 迷惑をかけたくない
- 他者交流増加

提出資料① 機能 変化・予測シート

以下当日課題

6G

	心身機能	機能障害
初回	・バイタルサイン安定 ・左上下肢MMT 4 ・JCS：Ⅰ-3	・右片麻痺（BRS上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅱ） ・感覚障害 筋緊張・深部腱反射亢進 ・失語（軽度混合型） ・高次脳機能障害（注意・失行） ・嚥下摂食障害（全粥ソフト食、水分トロミ） ・構音障害、耐久性低下、精神的に不安定
2回目 カンファ (入院40日後)	・Br-stageⅡ-V-Ⅳ ・高次脳機能障害改善傾向 ・嚥下障害改善傾向、食形態制限なし	・高次脳機能障害残存 ・運動麻痺残存
退院時予測 (入院4ヶ月後)	・Br-stage手指Ⅴ-下肢Ⅴ ・左上下肢MMT5 ・麻痺側上肢補助手 ・音読は可能	・Br-stage上肢Ⅲ ・感覚障害（表在、深部）残存 ・高次脳機能障害（注意障害）残存 ・軽度喚語困難残存

*病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料② 活動 変化・予測シート

以下当日課題

6G

	活動	活動制限
初回	・ 普通型車いす座位可能 ・ 起居移乗動作一部介助 ・ 食事整容排泄更衣一部介助 ・ 車いす自走見守りレベル	・ 立位を伴う動作全般に介助要する（膝折れ） ・ 歩行重介助（長下肢装具使用） ・ 入浴全介助 ・ 食事途中で介助を要すトイレ一部介助（オムツ使用）
2回目 カンファ (入院40日後)	・ 起居見守り ・ 介助歩行導入予定 ・ 装具＋杖で30m歩行可 ・ FIM運動項目改善（45点へ）	・ コール未定着 ・ 自立範囲は拡大していない ・ 移乗軽介助、ADL一部介助 ・ 失禁残存（減少傾向ではある） ・ 車椅子操作未獲得 ・ 転倒している
退院時予測 (入院4ヶ月後)	・ 起居、移乗、整容（左上肢での化粧含む）、排泄自立 ・ 内服動作自己にて可能 ・ T字杖+短下肢装具使用、屋内歩行自立 ・ 短下肢装具着脱可能 ・ 絵本の読み聞かせ可能 ・ 他者とのコミュニケーションが口頭で可能	・ 入浴介助 ・ 内服管理介助 ・ 栄養管理 ・ 屋外歩行、段差、階段昇降見守り ・ 細かい複雑な内容の伝達には制限あり

＊病棟生活（環境）を想定して設定

提出資料③ デマンドから退院3ヶ月後の参加目標

入院期間：4ヶ月

6G

本人から表出
される主観的な
要求・要望

【デマンド】
(変化)

家に帰りたい、家族に迷惑をかけたくない、家族に会いたい、普通のを食べたい → おむつを使いたくない、階段昇降ができるようになりたい、一人でお風呂に入りたい、装具を使わず歩けるようになりたい、庭での作業を続けたい、夫の好物のローストビーフ、孫の好きなお菓子を作りたい、自動車の運転ができない、孫たちに絵本の読み聞かせができるようになりたい、夫に迷惑をかけるようなら施設に入りたい、夫や娘の愚痴を聞いていた、しっかり良くなってから帰りたい、友人と連絡を取りたい、再発が心配

その人に必要で
退院後3ヶ月以内に実
現可能な
要求・要望

【ニーズ】

おむつ→布パンツへ
孫たちに絵本を読み聞かせ
夫の好物ローストビーフ、孫の好きなお菓子→家族と一緒に作る
階段昇降→家族見守り
一人で入浴→環境調整で可能（シャワー浴）
庭での作業→家族介助あり
友人と連絡を取る

退院3カ月後の
“生きがい”
“楽しみ”

【参加目標】

- ・夫の好物ローストビーフ、孫の好きなお菓子→家族と一緒に作る
- ・友人と連絡を取る
- ・孫たちに絵本を読み聞かせ
- ・家族とともに庭での作業

検討した内容・選んだ理由等

- ・自動車：材料の買い出しへの手段なら材料を調達してもらえれば必要はないか
- ・できることが増えてきて要求が具体的な内容になってきた
- ・自分のことから家族のことへ

- ・家事に参加したり、家族の役に立つことで、生きがいを取り戻す

提出資料④	課題整理シート 6G
退院までの重点的アプローチ課題	理由（簡潔に記載）
①屋内 入浴以外のADL自立 ②屋外 歩行見守り ③内服見守り ④IADLの獲得	①②夫の就労継続に必要（家族に迷惑をかけたくない） ③再発予防 ④家族の役に立つことで、本人の生きがいを取り戻す
退院後の生活準備課題	検討結果：理由
①住む場所(部屋)・寝室 ②介護が必要な部分とその介護者 ③生計を維持できる収入 ④介護サービスの選定、必要なサービス等 ⑤家族指導 ⑥リスクの確認と緊急時の対応方法/連絡先	①本人の寝室を2階→1階へ（階段昇降は見守り）、ベッド脇に置き型手すり 夫の寝所の検討→元々別室だが、夜間安全のために1階の隣室を勧める。 階段:手すり、家への出入り口の検討（楽に入れる入口から入る）＋玄関の外階段、玄関の上がり框:手すり、玄関:椅子設置。 浴室・浴槽内に滑り止めマット、浴室内に手すり、シャワーチェア設置。 トイレ:手すり設置。（トイレの入り口＋便座近く） ②⑤夫、長女（服薬管理、介助方法の指導） ③夫の就労継続により収入はあるが、介護サービス利用分負担増、住宅ローン ④訪問リハビリ、訪問看護(服薬管理確認等)、外来リハビリ(運転目的)、 訪問介護(一緒に調理)、福祉用具の選定 ⑥転倒・転落→万が一の転倒時、自力で立ち上げられるよう指導。常時携帯所持。 CM対応 訪問看護連携 ワンタッチで連絡(緊急連絡先は両親でも可) 内服自己中断→家族や訪問看護によるモニタリング 脳出血再発時→スマートウォッチの活用、「すぐに救急車」の指導

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

6G

1週間 1ヶ月		訪問看護：週1回、訪問介護：週5回（平日）、訪問リハ：週2回、外来受診：毎週火曜					
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時	21時
本人	セルフケア	起床：自立 更衣：自立 朝食：自立 昼食：自立 夕食：自立					
	役割	後片付け 朝食準備：夫と 掃除：リビング、居室 食材買い出し（土日）：夫と 後片付け 昼食準備：介護と ガーデニング：室内 後片付け 夕食準備：長女と両親と 洗濯：たたむ					
家族の支援 (夫娘親)		朝食準備：夫 服薬確認：夫 食材買い出し（土日）：夫 掃除→2階、浴室：夫or長女 洗濯回す、干す：夫Or長女 夕食準備：長女と両親 服薬確認：夫					
介護医療		週1回：訪問看護と内服カレンダーセット	(入浴、調理、屋外歩行訓練の為週2回：訪問リハ)	昼食準備：訪問介護(週5)	入浴：訪問介護(週5)	月1回 火曜日受診	後に運転訓練の為(週1回：外来リハ)
その他の支援							

3ヶ月後退院	参加目標	・夫の好物ローストビーフ、孫の好きなお菓子→家族と一緒に作る ・友人と交流する ・孫たちに絵本を読み聞かせ ・家族とともに庭での作業 ・車の運転（支援が必要）		
		目標	職種の目標	介入内容
退院時	活動	・起居、移乗、整容（左上肢での化粧含む）、排泄自立 ・T字杖+短下肢装具使用（着脱自立）、屋内歩行自立 ・内服動作自己自立 ・絵本の読み聞かせ可能 ・他者とのコミュニケーションが口頭で可 ・口腔管理(動作は自立、モニタリング要) ・入浴介助 ・内服管理介助 ・栄養管理 ・屋外歩行、段差、階段昇降見守り ・細かい複雑な内容の伝達には制限あり	NS：内服カレンダー（1週間）利用し自己管理ができる 栄養士：食事療法を理解し実践可 MSW：フォーマルなサービスを利用できる、インフォーマルなサービスの内容決定 PT：屋外歩行、階段昇降が見守り、床上動作の獲得、跨ぎ動作の獲得（敷居など） OT：入浴以外のADL自立、簡単な調理可能 CW：日常生活動作の安定 ST：円滑なコミュニケーション	NS：内服状況の確認、家族へ並行指導実施 栄養士：栄養指導（本人および家族） MSW：ケアマネージャーおよび家族への実態調査+リハビリ見学を実施 PT：歩行、床上動作、跨ぎ動作練習、応用歩行練習（横歩きなど） OT：ADL訓練（更衣、整容、排泄）、入浴、調理：娘および家族へ指導 CW：日常生活動作夜間動作確認 ST：スマホ練習、読み聞かせ練習
	心身機能	・Br-stageⅢ-V-V ・左上下肢MMT5 ・麻痺側上肢補助手 ・音読可能 ・感覚障害（表在、深部）残存 ・高次脳機能障害（注意障害）残存 ・軽度喚語困難残存	NS：皮膚トラブルの早期発見、対応 PT：非麻痺側筋力向上、筋力バランス向上により歩行安定性獲得 OT：利き手交換（包丁やハサミ）、麻痺側補助手 ST：喚語力向上	PT：筋力増強練習、バランス練習 OT：利き手交換訓練 ST：言語機能練習 NS：皮膚状態の観察（本人及び家族指導）

第182回全職種研修会

全体討議



1 日 目

本日の目標

- 架空の事例の2回目カンファレンス（入院40日頃）までの経過要約を、ICF表を利用して症例の全体像を共有し、追記することで情報を整理する。
- FIMの変化などから予後予測を行い、退院時期と機能・活動レベルの病棟での退院時目標を作成。これをニーズを考える上での客観的評価とする。さらに個人因子・環境因子も考慮してデマンドからニーズを抽出し、退院3ヶ月後の参加目標を考える。
- 本日のグループワークの成果を、2グループ間で発表し合い、理解を深める。

退院時期	<u>1 G</u>	<u>2 G</u>
	<u>3か月</u>	<u>4か月</u>
退院時期	<u>3 G</u>	<u>4 G</u>
	<u>6か月</u>	<u>4か月</u>
退院時期	<u>5 G</u>	<u>6 G</u>
	<u>5か月</u>	<u>4か月</u>

退院時予測	1 G	2 G
心身機能レベル	＜心身機能＞ 大腿四頭筋の筋力、バランステスト45点以上目指す、耐久性向上、麻痺側管理、肩装具作成検討、右下肢筋力向上、右上肢の巧緻性向上、口腔機能の向上、 ＜機能障害＞ 注意障害・失行残存、右上肢麻痺残存、筋緊張亢進の残存、重度感覚障害の残存、精神的不安定さの残存	＜心身機能＞ ・麻痺の改善（BRS:Ⅲ/V/V） ・左上下肢MMT5 ・注意、失行障害軽減 ・見当識、発動性の改善 ・食形態の制限なし ・内服管理自立、疾病管理 ＜機能障害＞ ・右上下肢運動麻痺残存 ・右上下肢感覚障害残存 ・注意障害（分配性）残存 ・低栄養
活動レベル	＜活動＞ 短下肢装具で日中自立歩行、屋内：装具装着下で伝い歩き、階段昇降は装具・手すり使用し見守り、病棟トイレ動作自立、屋外歩行杖・装具使用し見守り、更衣動作自立、調理動作見守り、整容自立、調理自助具使用検討、改造車の案内、自主練習の獲得、 ＜活動制約＞ 入浴介助が課題、車運転動作が難しい、食事セッティングのみ介助（室内歩行器の使用）、自宅での日中・夜間帯のトイレ動作、内服のアドヒアランス不良、同居家族いるため（日日常生活動作介助できない）、	＜活動＞ ・屋内 短下肢装具、T字杖使用し短距離歩行修正自立 ・屋外歩行 短下肢装具、T字杖使用し見守り ・車の乗降 自立 ・食事整容更衣自立 トイレ修正自立（終日） ・入浴 見守り～軽介助 ・自助具使用し見守りのもと簡単な調理ができる ＜活動制約＞ ・歩行はプラスチック短下肢装具、歩行補助具が必要 ・装具の着脱に時間がかかる ・右手は補助手として使用または利き手交換が必要

退院時予測	3 G	4 G
心身機能レベル	＜心身機能＞ 普通食にて食事全量摂取が可能。 BRS上肢Ⅲ、手指Ⅵ、下肢Ⅴ 日常生活上に支障ないレベルまで注意機能改善 ＜機能障害＞ 麻痺側上肢は補助手レベル 不眠時は適宜服薬コントロールが必要	＜心身機能＞ 起居動作 自立、歩行改善、体幹改善 高次脳改善 （危険行動減少 注意）下肢改善 全身状態安定、栄養状態改善、血圧安定、 リスク低下、精神面改善（役割意欲あり） ＜機能障害＞ 右片麻痺（BRS上肢Ⅳ、手指Ⅴ、下肢Ⅴ） 装具有 種類：シューホーン 右上肢機能 補助的 利き手交換必要 筋緊張高い 歩容心配（つまづきやすい） 喚語困難残存
活動レベル	＜活動＞ 移乗動作自立 病棟内杖歩行自立 短下肢装具（SLB・SPS）着用下にて室内伝い歩き自立 食事・整容・更衣・トイレ動作は修正自立 失禁消失し普通パンツ使用 手すり使用し階段昇降は可能 薬包の開封は自己にて可能 入浴は補助具（シャワーチェア・ブラッシング）を活用し自立 調理は一品ずつであれば見守りのみで可能 自動車運転 麻痺側でのアクセル等危険？ 改造車 何故運転が必要か？→理由によっては本人が運転しなくても良いのでは？ 教習所で運転支援（OT、ST） 高次脳の評価をしてDrと相談 SDSA（評価ツール）をとってカンファレンス時にDrに報告し検討する 運転シュミレーターを活用する 運転できる可能性がある方はENT後再評価し教習所へ案内する 評価して多職種と検討して、運転が危険な場合は代替案を本人家族へ提案する 本人が家族の役に立ちたい思いがあり代替案を出すことが良いのかどうか・・・ 手段・目的含め自動車運転の可能性を検討 ＜活動制約＞ 屋外杖歩行はスタッフ見守りが必要 清拭は補助具の使用が必要 看護師介入下での服薬自己管理の練習中 バイタル自己管理の練習中	＜活動＞ ADL自立（入浴修正自立） 歩行（屋内:杖、装具なし→あり、浴室：装具無） トイレ 普通トイレ 布パンツ＋パッド着用 バイタルのセルフモニターが可能 服薬：カレンダー使用し自己管理 ＜活動制約＞ IADL 家族見守り（注意障害） 屋外歩行：見守り（装具有、1本杖） 階段昇降は要環境調整

退院時予測	5 G	6 G
心身機能レベル	<心身機能> ・BRS手指Ⅵ右下肢Ⅴ ・認知、高次脳機能改善 ・危機管理能力向上 ・日常会話問題なし <機能障害> ・BRS上肢Ⅲ（補助手） ・感覚障害残存	<心身機能> 右肩関節亜脱臼改善 左上下肢MMT5 耐久性向上 失行消失 <機能障害> 右BRSⅢ/V/V 感覚重度障害 上肢補助手レベル 注意障害軽度残存 失語・構音障害ごく軽度残存 精神的な落ち込みは残存
活動レベル	<活動> ・短下肢装具屋内伝い歩き・独歩自立、屋外T-cane自立 ・トイレ終日自立 ・入浴修正自立 ・階段昇降修正自立 ・自動車運転自立 ・IADL自立（掃除・洗濯） <活動制約> 不整地での応用動作困難（庭作業）	<活動> ADL修正自立（入浴以外） 布パンツ＋尿パット 杖歩行屋外は見守り＋屋外のみプラスチック装具使用 階段昇降手すり使用して自立 洗濯たたむことはできる 内服自己管理 <活動制約> 調理動作見守り 洗濯もの取り込みみまもり クイックルワイパー見守り 入浴見守り 運搬動作は介助 コミュニケーション複雑な内容は支援が必要 複雑な内容の説明には推測が必要

1 G

本人から表出される主観的な要求・要望

家に帰りたい、家族に会いたい、階段昇降できるようにになりたい、家族に迷惑をかけたくない、普通のものが食べたい、

娘や夫に面倒や心配をかけたくない、装具無しで歩けるようになりたい、庭での作業を続けたい、調理動作を獲得したい、自動車の運転をしたい、孫たちに絵本の読み聞かせをしたい、夫や娘の愚痴を聞いてあげて、ストレスを軽減してあげたい

<検討した内容>

リハビリの継続、入浴についてデイサービスや訪問リハビリ、訪問看護を活用していく
見守り可能で階段昇降可能であれば自立可能と検討

日中独居であり、本人・家族の不安をなくしたい

本人の楽しみ、長女への負担軽減になるため
日中独居のため、交流の場を設けることが大事
と思ったため

2 G

・階段昇降自立
・装具なしで歩きたい
・庭での作業を続けたい
・ローストビーフやお菓子が作れるようになりたい

・自動車運転がしたい
・絵本の読み聞かせができるようになりたい
・オムツを使わずトイレに行きたい
・一人で入浴したい
・友人と連絡をとりたい
・夫に迷惑をかけるなら施設に入りたい。

<検討した内容>

・家族が多忙なため自分のことを自分でできるように
・家族の介護負担の軽減

・孫の世話、調理が本人の役割、いきがいてあったため
・QOLを向上、コミュニティーへの参加拡大として友人との交流を再開する

3 G

本人から表出
される主観的
な要求・要望

家しっかり良くなって帰りたい→麻痺や後遺症
を直したい
一人でなんでも出来るようになりたいに入りたい

庭の作業を続けたい

おむつを使わず済むようになりたい

お風呂は一人で入れるようになりたい

孫に絵本を読み聞かせたい

料理とお菓子、ローストビーフを家族に作りたい

自動車の運転が出来ないと困ります

装具なしで歩けるようになりたい

家族に迷惑をかけたくない。普通のものが食べ
たい

再発が心配です

＜検討した内容＞

デマンドは、自分のことは自分で出来るように
なる。家族迷惑をかけたくない。

身辺動作の自立獲得が必須でADL/IADLの一部
獲得は必要。家庭内での役割を提案する必要がある。

4 G

家に帰りたい、家族に会いたい

家族に迷惑をかけたくない。何でも1人ででき
るようになりたい。（お風呂など）

趣味活動（ガーデニング）を再開したい。

見舞いの人と会いたくない→友人との交流を再
開したい。

夫に好物を作ってあげたい、孫に読み聞かせを
したい

＜検討した内容＞

自分の事（家に帰りたい、家族に会いたい）か
ら、家族の事（夫の好物を作りたいなど）につ
いての要望が表出されてきている。

退院後の生活について希望を見出している。

退院後、趣味など自分の事についての充足感も
今後、必要になってくる。

5 G

本人から表出
される主観的
な要求・要望

家に帰りたい⇒しっかりよくなってから帰りたい、家族に迷惑をかけたくない 普通の物を食べたい、再発が心配です、寝室が2階にある為階段昇降ができるようになりたい、装具を使わなくて歩けるようになりたい、友人が見舞いにきてくれるが、今の姿を見せたくない、ローストビーフが作れるようになりたい、孫の好きなお菓子が作れるようになりたい、孫たちに絵本を読み聞かせるのができるようになりたい、自動車の運転ができるようになりたい（できなくて困っている）友人と連絡を取りたい、人に迷惑かけようなら施設に入りたい、オムツを使わなくて済むようになりたい、風呂は1人で入れるようになりたい、庭での作業をしたい

＜検討した内容＞

入院時は自分の状態のみ不安であったが経過を追う事に家族のことや運転の再開等視野を広く持てるようになった

病前での主婦としての役割の再獲得が必要となる為IADL・自動車運転の自立が必要

庭での作業⇒退院直後は困難ではあるが、訪問リハビリを通して再開ができるか検討

自動車の改造が必要

（自立レベルまで到達するも、退院後自動車学校等に出向き改造車の検討等していく必要あり）

6 G

家に帰りたい、家族に迷惑をかけたくない、家族に会いたい、普通のものを食べたい → おむつを使いたくない、階段昇降ができるようになりたい、一人でお風呂に入りたい、装具を使わず歩けるようになりたい、庭での作業を続けたい、夫の好物のローストビーフ、孫の好きなお菓子を作りたい、自動車の運転ができない、孫たちに絵本の読み聞かせができるようになりたい、夫に迷惑をかけるようなら施設に入りたい、夫や娘の愚痴を聞いていた、しっかり良くなってから帰りたい、友人と連絡を取りたい、再発が心配

＜検討した内容＞

- ・自動車：材料の買い出しへの手段なら材料を調達してもらえれば必要はないか

- ・できることが増えてきて要求が具体的な内容になってきた

- ・自分のことから家族のことへ

- ・家事に参加したり、家族の役に立つことで、生きがいを取り戻す

その人に必要 で退院後3ヶ月 以内に実現可 能な要求・要 望	1 G	2 G
	住宅環境調整や福祉サービスを導入し自宅退院 をしたい、階段を一人で登れるようになりたい、 入浴以外のADL自立したい、調理動作を獲得し たい、喚語困難を軽減したい、家族と交流の手 段を確立したい、	・装具ありで歩行自立 ・オムツを使わずトイレに行くことができる ・絵本の読み聞かせができる ・友人と連絡をとれる ・家族と一緒に調理ができる
	3 G	4 G
	おむつを使わず済むようになりたい トイレ自立 孫に絵本を読み聞かせたい 洗濯物畳み	身辺動作 布の下着の使用。 血圧の薬、自己中断 服薬管理自立を目指せる 屋外歩行・階段昇降自立（環境調整や装具は必 要） 調理・洗濯・掃除（家族の見守り～簡単な料理 で自立）
	5 G	6 G
	自動車の運転ができるようになりたい 料理ができるようになりたい オムツを使わなくて済むようになりたい 風呂は1人で入れるようになりたい 孫たちに絵本を読み聞かせるのができるよう になりたい 友人と連絡をとりたい	おむつ→布パンツへ 孫たちに絵本を読み聞かせ 夫の好物ローストビーフ、孫の好きなお菓子→ 家族と一緒に作る 階段昇降→家族見守り 一人で入浴→環境調整で可能（シャワー浴） 庭での作業→家族介助あり 友人と連絡を取る

1 G

退院3ヶ月後の
参加目標

家族との交流の場が増えている（外出、調理、
孫との読み聞かせ）
花の水やりができる
友達との交流ができる（電話、フラワーアレン
ジメント）
家族と買い物に行ける

2 G

- ・孫との交流ができる
- ・家族と一緒に調理ができる
- ・友人と外出ができる

3 G

孫に読み聞かせをする
家事を行うことが出来る
ご家族と協力して調理が出来る

4 G

家族の為に美味しい食事（夕食）を作る
掃除や洗濯など、今まで行っていた家庭内役割
を再開できる
お孫さんへの読み聞かせ
趣味（ガーデニング・フラワーアレンジメン
ト）

5 G

料理とガーデニング
自動車運転
フラワーアレンジメント（周りの補助あり）
孫の子育て
友人との外出

6 G

- ・夫の好物ローストビーフ、孫の好きなお菓子
→家族と一緒に作る
- ・友人と連絡を取る
- ・孫たちに絵本を読み聞かせ
- ・家族とともに庭での作業

2日目

本日の目標

1 日目に立てた参加目標と家屋情報をもとに

①退院直後の生活イメージ像を作成

②参加目標達成に必要なアプローチポイント

③目標達成のための各職種の役割

を決定する。

退院までの重点的アプローチ課題および理由

退院までの重点的
アプローチ課題

- ①屋内移動自立、階段昇降動作の獲得
- ②入浴以外のADL自立
- ③麻痺側管理自立
- ④疾病管理の自立

- ①入浴以外の屋内ADL自立
- ②麻痺側上下肢機能向上
- ③高次脳機能の改善
- ④疾病管理の自立
- ⑤調理練習、音読練習
- ⑥階段昇降

理由

- ①、②、③日中独居、2階に寝室あるため
- ④内服薬自己中断していた、血圧測定必要、日中独居

- ①家族負担の軽減、日中独居の時間があるため
- ②③ ①を達成するために必要なため、
- ④再出血防止のため
- ⑤QOL向上のため
- ⑥外出時の練習のため、QOL向上のため

退院までの重点的アプローチ課題および理由

退院までの重点的
アプローチ課題

- ①屋外歩行自立
- ②ADLは修正自立
- ③家事動作見守り
- ④自動車運転の可能性を検討

- ①階段を含む室内ADL動作自立
- ②IADL動作の再獲得
- ③血圧・内服自己管理の自立
- ④喚語困難の軽減

理由

- ①趣味や娘宅への訪問、買い物や通院等の為。
- ②日中独居の時間が長いため。
- ③本人の役割（主婦・生きがい）として必要。
- ④本人の意向や精神的な支えとして検討することが必要。

- ①室内のADL自立を目指しているため/非利き手での動作獲得のため
- ②役割再獲得のため
- ③再発防止のため(病前服薬の自己中断があり今回の発症につながっている)
- ④家族とのコミュニケーションや孫への読み聞かせのため

退院までの重点的アプローチ課題および理由

退院までの重点的
アプローチ課題

- ①歩行（歩行距離延長、運搬動作）
- ②IADL（洗濯、料理）
- ③高次脳機能改善
- ④利き手交換
- ⑤内服管理、栄養指導
- ⑥家屋評価、リハビリ指導

- ①屋内 入浴以外のADL自立
- ②屋外 歩行見守り
- ③内服見守り
- ④IADLの獲得

理由

- ①買い物等、外出頻度を増やす為
- ②家庭内役割の再獲得
- ③日常生活自立、自動車運転再開には必須
- ④ガーデニング、フラワーアレンジメント、家事動作の為に必須
- ⑤再発防止
- ⑥自宅での転倒防止

- ①②夫の就労継続に必要（家族に迷惑をかけたくない）
- ③再発予防
- ④家族の役に立つことで、本人の生きがいを取り戻す

退院後の生活準備課題および検討結果・理由

①住む場所・療養の場所

①日中は1階で過ごし、寝室の場所は変えず2階

生活拠点を1階に変更、住宅改修（玄関、浴室、階段、トイレ、に手すり福祉用具、介護ベッド導入）が必要：安全面の確保、家族負担の軽減

②介護が必要な部分とその介護者者

寝室に行く際の階段昇降見守り 介護者夫
洗濯、掃除動作介助、調理動作見守り 介護者 夫、娘

階段昇降（家族の見守り）、洗濯（家族とヘルパー）、入浴（家族、ヘルパー、訪問リハビリ）、調理（訪問リハビリ、家族、ヘルパー）、買い物・掃除（家族と一緒に）、ゴミ出し（家族）

③生計を維持できる収入

③屋外移動方法 見守り、長距離は車いす、通院は送迎か訪問看護

変化なし：貯蓄あり、夫の収入あり、介護保険・障害者手帳申請をするため

④

④緊急時の対応 訪問看護師に連絡、夫、娘の職場に連絡

⑤

⑤他者交流の方法の検討
⑥栄養指導
⑦サービスでの入浴介助、家族の入浴介助
⑧訪問リハビリ、訪問看護、通所リハビリ、入浴は、デイ・訪問検討
⑨階段、ベッド周り、トイレ
⑩シャワーチェア、レンタルの手すり、住宅改修の申請、自助用の調理器具、食事セッティング時の歩行器

退院後の生活準備課題および検討結果・理由

①住む場所・療養の場所	自宅内伝い歩き自立。日中はリビングで過ごす。寝室を1階の洋室に変更。トイレは手すり設置を設置。入浴は装具無しで跨ぎ動作自立。シャワーチェアの購入や脱衣所に手すりを設置することは必要。	① ■日中生活する場所：1階…リビングにて生活し、できる限りの家事動作を行う(洗濯：衣類を畳む、調理：野菜を切る・味を調える、掃除：机を拭く、などの部分的な動作から行う) ■寝室：1階…転倒リスクの軽減 2階…家族の寝室が近い(安心)、階段昇降動作機会の提供、環境変更によるストレス軽減
②介護が必要な部分とその介護者	手すり等の支持物を使用。退院後すぐの外出や慣れていない外出先によっては介護者（夫）の付添が必要。	① 介助が必要な動作：(1)退院初期は浴槽移乗見守り…夫 (2)階段昇降見守り…夫 (3)家事動作…主に夫 (4)買い物・公共交通機関を使用する際の屋外歩行見守り…夫 (5)昼食…配食サービス
③生計維持の収入	収入は変化無いが、支出が増加する可能性あり。	
④	④IADL動作 調理はキッチンに高い椅子を設置。患側の upper limb が挙上できるかによって座って調理するか適宜休憩場所として椅子を使用するかは検討。カット野菜等の活用。調理器具の工夫。調味料等の配置を再検討。掃除や洗濯は家族と一緒に実施。買い物は家族と行くか1人で行くのであれば買ったものの配達を依頼する。週に1～2回まとめ買いをしていただく。 チェックリストを用いて家族にチェックしてもらった上で動作して頂くと安全。	④福祉用具 キャスター付き台車(運搬用)、手すり：階段(玄関/室内)・浴室内・トイレ ⑤福祉サービス 訪問リハビリ(ADL・IADLに関して家の環境設定が可能)、配食サービス
⑤	⑤ガーデニングは装具着用し手すりを把持しながら水やりは可能。椅子等の環境設定が必要。	⑤住宅改修 手すり：玄関アプローチ・上がり框・階段・ウッドデッキ・庭・トイレ・浴室・（勝手口は今後検討） ⑥福祉用具 椅子：玄関・ウッドデッキ・脱衣所滑りマット・ひじ掛けありシャワーチェア・バスボード 手すり(ベッド横)

退院後の生活準備課題および検討結果・理由

①住む場所・療養
の場所

寝室は2階のまま。日中はリビングで生活。

本人の寝室を2階→1階へ（階段昇降は見守り）、
ベッド脇に置き型手すり

夫の寝所の検討→元々別室だが、夜間安全のために
1階の隣室を勧める。

階段:手すり、家への出入り口の検討（楽に入れる
入口から入る）＋玄関の外階段、玄関の上がり框:手
すり、玄関:椅子設置。

浴室・浴槽内に滑り止めマット、浴室内に手すり、
シャワーチェア設置。

トイレ:手すり設置。（トイレの入り口＋便座近く）

②介護が必要な部
分とその介護者

買い物、通院（夫、娘）、フラワーアレンジメン
ト（友人）、一部の家事動作（夫、両親）

夫、長女（服薬管理、介助方法の指導）

③生計維持の収入

夫の収入

夫の就労継続により収入はあるが、介護サー
ビス利用分負担増、住宅ローン

④

④住宅改修 玄関アプローチ、上がり框、
階段（両側）、1階トイレ、浴室手すり、
ウッドデッキ、敷居の撤廃又はスロープ
⑤福祉用具 シャワーチェア、椅子（靴着
脱用）、寝室（タッチアップ）
⑥環境設定 家電、マット、床の花瓶等

④訪問リハビリ、訪問看護（服薬管理確認等）、外来リ
ハビリ（運転目的）、

訪問介護（一緒に調理）、福祉用具の選定

⑤家族指導

⑥転倒・転落→万が一の転倒時、自力で立ち上がる
よう指導。常時携帯所持。

CM対応 訪問看護連携 ワンタッチで連絡（緊急
連絡先は両親でも可）

内服自己中断→家族や訪問看護によるモニタリング

脳出血再発時→スマートウォッチの活用、「すぐに
救急車」の指導

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

1 G

1週間 1ヶ月		デイサービス 週2回 訪問リハビリ 週2回 ヘルパー 週3回 訪問看護 週1回 受診 月1回 火曜日											
時間帯		6時		9時		12時		15時		18時		21時	
本人	セルフケア	起床：自立 立 更衣：自立 血圧測定 朝食：準備は家族の介助 排泄：自立						入浴：サービス利用 昼食：室内歩行器使用し自立 排泄：自立				就寝準備：更衣自 夕食：家族と準備 排泄：自立	
	役割	花の水やり				食事の配膳 子育てへの参加				孫への読み聞かせ 夕飯準備・片付けの手伝い			
家族の支援 (夫娘親)		一日分の内服薬準備 階段昇降見守り 体調確認						内服薬確認 階段昇降見守り 娘訪問（週2回） 夫との買い物（休日） 夫介助でのシャワー浴（休日）					
介護医療		（月1回 火曜日 午前 受診） （デイサービス、ヘルパーで入浴） （訪問リハビリ） （訪問看護）											
その他の支援		友人と共にフラワーアレンジメント参加（月1回）											

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

2G

1週間 1ヶ月		・訪問リハビリ（週3回）、ヘルパー（週5回）、病院受診（月1回） ※状況によって、レスパイト入院・ショートステイの提案					
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時	21時
本人	セルフケア	起床、更衣、整容：自立 自立 朝食：自立 内服：自立 昼食：自立 内服：自立 夕食：自立 内服：自立 入浴：介助 排泄： 就寝準備：					
	役割	朝食準備 洗濯・掃除 孫の交流（読み聞かせ） 昼食準備 夕食準備					
家族の支援 (夫娘親)		朝食準備 洗濯・ゴミ出し・掃除（本人ができないところをサポート） 外出 孫との交流時の見守り 夕食準備 内服の確認 買い物					
介護医療		・訪問リハビリ（週3回）、ヘルパー（週5回）、病院受診（月1回）					
その他の支援		・友人のサポートで外出 ・孫との交流のために、自宅へ遊びにきてもらう					

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

3G

1週間
1ヶ月

時間帯

6時

9時

12時

15時

18時

21時

セルフ
ケア

起床:自立
更衣:自立
内服:自立

朝食:自立

昼食:自立

夕食:自立

セルフケア:修正自立

役割

調理

料理の片づけ
洗濯・掃除

ガーデニング

孫との交流

料理の片づけ
夫とのひととき

家族の
支援
(夫娘親)

買い物週1回

介護
医療

・通院（定期受診）

その他の
支援

・友人との関りにて協力を得られれば一緒に買い物等をお願いする

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

4G

1週間 1ヶ月		定期受診：2週間に1回、訪問リハビリ：週3回					
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時	21時
本人	セルフケア	・起床 ・朝食 ・整容 ・更衣		・昼食 ・排泄		・夕食	・入浴 ・整容 ・就寝 ・排泄
	役割	衣 排泄 食事の準備	洗濯/掃除	配食サービスの受け取り		夕飯の準備	
家族の支援 (夫娘親)		食事の準備（夫）				食事の準備（夫） 入浴時、階段昇降の見守り（夫） 内服の確認（夫）	
介護医療		訪問リハビリ(月・木) →調理など家事動作 ※月曜日は娘にみてもらう		配食サービス		訪問リハビリ(土) →入浴	
その他の支援							

※月曜日は長女の関わりがあるため、訪問リハでの動作確認もしてもらう。

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

5G

1 週間 1 ヶ月		毎週末 買い物（家族付き添い） 週2回 訪問リハビリ（PT,OT） 月1回 受診（家族付き添い） 週2～3回 家事援助（母） 週2～3 家事援助（娘）					
時間帯		6 時	9 時	12 時	15 時	18 時	21 時
本人	セルフ ケア	起床；自立 準備 更衣；自立 整容；自立 朝食；自立 昼食；自立 入浴；自立 夕食；自立 就寝					
	役割	朝食準備、後片付け 洗濯、掃除（リビング） 水やり 昼食準備、後片付け 孫の世話 夕食準備、後片付け 水やり					
家族の 支援 (夫娘親)		家族水やり 夫配膳、服薬確認 母、娘洗濯 母、娘調理 家族水やり 夫配膳					
介護 医療		週2回訪問リハビリ					
その他の 支援		外出援助（友人）					

提出資料⑤

退院直後の生活スケジュール

6G

1週間 1ヶ月		週 回 訪問リハ	週 1 回 訪問看護	週 5 回（平日）訪問介護		
時間帯		6時	9時	12時	15時	18時 21時
本人	セルフケア	起床:自立 更衣:自立 朝食:自立 昼食:自立 夕食:自立				
	役割	後片付け 朝食準備:夫と 食材買い出し(土日):夫と 後片付け 昼食準備:介護と 後片付け 夕食準備:長女と両親と 洗濯:たたむ				
家族の支援 (夫娘親)		朝食準備:夫 服薬確認:夫 食材買い出し(土日):夫 洗濯回す、干す:夫Or長女 夕食準備:長女と両親 服薬確認:夫				
介護医療		週 1 回:訪問看護と 内服カレンダーセット 昼食準備: 訪問介護 入浴:訪問介護				
その他の支援		ガーデニング:				